



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772

印刷 明文舎印刷商事(株)

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

解題

預言者と偽預言者。この二つを見分けることは非常に難しい。「偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にまとってあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲な狼である」(マタイ7:15)と、主もこの偽預言者への注意を語りかけ、それを見分けるのは、良い木には良い実がつくように「その実でああなたがたは彼らを見分ける」(マタイ7:20)というのである。

確かに、旧約聖書においても「あなたは心の中で、『どうして我々は、その言葉が主の語られた言葉ではないか』と知ろうとするのだろうか」と言うであろう。その預言者が主の御名によって語っても、そのことが起こらず、実現しなければ、それは主が語られたものではない。預言者が勝手に語ったのであるから、恐れることとはない(申18:21-22)とモーセは告げる。

結局は、預言者と偽預言者を見分けるのは、その預言が実際に当たったかどうか、そしてその預言者がどんな実を結んだのかどうかで、判断されると言うのだ。巷では、多くの預言の言葉と称するものが語られている。SNSやYouTubeといったインターネットの世界では、多くの自称預言者たちが跋扈している。今世界を覆う経済や政治の混乱を、

瞑想

私は近くにいる神なのかー 主の仰せ。遠くにいる神ではないのか。

主幹牧師 榎本 恵

エレミヤ23:23 (協)

ののは簡単である。しかし、実際それを視聴する何万回という再生回数表示に、不透明な未来に対する現代人の不安や恐れが溢れているのを感じずにはおれない。私たちはそのような時代の中で、本物の預言者と偽物とを見分けなければならぬのだ。預言者エレミヤの生きた

囚となり、滅び去るのだ。エレミヤは、そんな過酷な時代を預言者として生き続けた。彼の使命は、常に偽預言者たちとの対決であったのだ。「身分の低い者から高い者に至るまで皆、利をむさぼり、預言者から祭司に至るまで皆、欺く。彼らは、わが民の破滅を手軽に治療して、平和がないのに『平和、平和』と言う」(エレミヤ6:13-14)。「見よ、わたしは偽りの夢を預言する者たちに立ち向かう」(エレミヤ23:32)。

友よ、私たちは、現代の偽預言者を、決して恐れることはない。また語られる未来に一喜一憂する必要もない。ただ、それがどんな実を結ぶのか、またその言葉が、本当に実現するのか、見極めていくものとならねばならない。主の言葉の通り、世の終わりは必ずくる。しかし、それは誰にも分からない。天使にも、子にさえも。だから「人に惑わされないように気をつけなさい」(マタイ24:4)。

第27回 福岡一日 アシユラムに参加して



今年も福岡中部教会にて。感謝です。

福嶋 久仁子
毎年海の日に福岡一日アシユラムが開催されています。今年は博多山笠追山の日と重なり、また福岡県には大雨警報が出されている中、榎本牧師ご夫妻は

沖繩と滋賀より、参加者も長崎、北九州、筑後からと神様のお守りの内に無事集められての開催に感謝致します。

主題聖句出エジプト23章2節「訴訟において多数決に合わせて答弁し判決を曲げてはならない」静聴はマタイ27章でした。

その中に、群衆という言葉が目にとまり、多数決という言葉と繋がりました。私も群衆の中の1人であり、群衆を恐れ正しい物事の本質を見極める事のできない後ろめたさを現実社会の中で感じて



日本アライアンス呉教会にて再開、感謝。

第51回 呉教会アシユラムに 参加して

おられます。

マタイ14章の中にも、イエスは群衆を解散させ、ひとり祈るために山に登られました。主の前に立ち返つ

て祈り、物事に取り組む力と勇気が与えられた福岡一日アシユラムに感謝致します。

(日基福岡城東橋教会 (Zoom) 聖書教室、早天祈禱会の友)

杉田 栄子
「流れのほとりに植えられた木」(詩篇第1篇3節)の主題聖句のもと、榎本恵牧師をお招きして、数年ぶりに行われました。

といっても私は人生初めてのアシユラム参加。しかも昼食のお祈りを任せられていたので、役目が終わるまでは落ち着きませんでしたが、何もかもが初めてだったわりにはスムーズに、あつと

いう間に終わり、満足感でいっぱいでした。

ファミリーの分かち合いの中で今までの生活を振り返つてみると、本当に無駄な時間を費やしていたことに気づかされました。

特に聖書は自分の正しさを主張し、人を非難するために読み、自己満足をしていたように思います。そうではなく、自分がそれに従うために読み、聖書の語りかける霊の言に素直に耳を傾けられるように努力し、残り少ない日々を有意義に過ごしたいと思うようになりました。

半日のアシユラムでしたが、毎日の祈りの時は続いています。全てに感謝です。

(日本アライアンス 呉教会)

他、婦人会の皆様、山下様からも感謝のお便り頂き、励まされております。来年も続けられますように！



三重アシラムが、これからも続きますように。
津ルーテル教会にて

私は二十数年（妻は始めから）三重アシラムに関わっています。アシラム運動がいかに大切か特に歳を取ってくるごとに信仰生活の基本中の基本であるということを認識して恵みに思っています。
生涯、このアシラム運動と共に歩



日基三島真光教会にて、続けさせて頂き感謝！

榎本恵先生の「友よ、私たちもこの群衆でいることから解放しよう」の力強いメッセージを頂き感謝でした。
次に、ファミリーの友の願いを知り、友を覚えて祈ることを学びました。一日に二人の祈りですから、心して頑張ればできそうと簡単

ファミリーの方々は皆様信仰が厚く、一人一人が主体的なすつきりした方で楽しい一日となりました。
アシラムセンターの方々、ファミリーの方々、これからもよろしくお願い致します。
（日本基督教団 今治教会）

29回 三重アシラム 愛餐の祈り

下村 徹嗣師

天地万物を造りたまひし、全能の父なる神さま。み名を崇め、賛美いたします。今日あなたに招かれ愛する兄弟達とともにおられる大きな恵みの霊。

ター主催となりました。28回にわたって多くの信仰の先輩方がこのアシラムを支えてこられました。今でも三好先生を中心としたミニアシラムは大きな支え、希望であります。これからはアシラムセンター主催となり、安心してアシラムの輪を広げていきます。

み、三重アシラムとも心の居場所としてずっと交わっていきたいと思います。
愛餐の前に感謝して。
（日本基督教団 金城教会）

第5回 四国一日アシラム 感謝のお便りより

津田 美鈴

主の聖名を賛美致します。
先日は四国一日アシラムに参加させて

頂き、有り難うございました。アシラムには若い頃から一度参加させて頂きたいとずうっと思っていた私の小さな願いでした。

今回環境が整い、参加が整いましたこと心から神様とアシラムセンターの方々に感謝致しております。

「友を覚えて」祈ることを決め、「静かに祈るものとならせて下さい」と主の前にお祈りしました。

に考え、この大切な祈りを受諾して帰って参りました。（心の内に）
一日、二日、何とか心から静かに祈りができ、安心していると、三日目は失念し、四日目には二日分合わせてお祈りするという体たらく。三日坊主とはよく言ったものです。これではいけない。続けられないよ。とにかく一日に一人の友のことを、私自身の祈りの前に「友を覚えて」祈ることを決め、「静かに祈るものとならせて下さい」と主の前にお祈りしました。



夫と越ゆる 八十路の山坂 杖となる 聖書の言葉に 励まされ行く
夫居ずも カーナビの声に いざなわれ 秋空のもと 薫風歌会

早天祈祷会での祈り 尾崎 恵 (2022.04.01)

天の神さま、今朝も皆様のお祈りに支えて頂き、早天に参加できました。今日はイエス様の柔和について想いをいたすことができました。ただのやさしさではなく、その中にある鋭さ、厳しさがあることを学びました。

群衆のなかにある私、人を恐れ流されてしまう弱い私を神さまは徹底的な信頼をもって助けて下さいました。

今日行われる祈りの会(百合の会)をありがとうございます。出席されるお一人お一人の足を守り、祝福の中からみことばを聴くことができますように。



↑祈りかかった、百合の会。恵姉、生き生きと。写真前列恵師右(2022.4.1) つづきは、天上で、きっと！



↑8月1日、恵姉召天日に、尾崎兄が、ご来訪。シメオン庭のプレートに花束を…

お便りより

皆様のお祈りに支えられて、あちこちばたばたしております。アメリカ、インド、マダガスカル等を訪問し、夏以降もいくつか計画中です。

和子先生ご召天の際はリモートで拝見し、榎本空兄の「祖母を失うこと」を拝読しました。和子先生が50年前に榎本保郎先生とよく東京に来られたころのことを懐かしく思い出します。

皆様の益々のご健勝をお祈りいたしつつ、感謝までに。また訪問の機会を捜しております。

山岡 三治師 (イエズス会日本管区長補佐)



第1回リトリートアッシュラムにて(左)



↑第2回ユースリトリートアッシュラム、ラビリンズでの瞑想の時。



↑天上の友を憶える日礼拝2024 シメオン庭にて



↑後宮松代姉、8月17日ご召天。写真は、一週間前、礼拝後。愛唱譜美を歌うと、目をうっすら開け、かすかに歌声?(ご報告は、次号で)



↑小林茂男、佳子ご夫妻の娘様、庄司恭子、大橋史子姉妹も、関東より、ご参列。

歌集であい第二集より

小林佳子

I Love Taiwan Mission (ILT) に参加して

この度、台湾長老教会主催の I Love Taiwan Mission (ILT) 2024 に参加しました。恵牧師から案内をされた時は、こんなイベントがあるんだな—とただ参加するつもりはありませんでした。二週間という滞在期間、またアシュラムの準備など不安があったからです。

しかし、いろいろと考えている中で対象が 35 歳までということもあり、参加を決意しました。牧師の推薦状も必要ということで、齋藤篤牧師に急遽推薦状を書いていただき、無事に参加が叶いました。

オリエンテーションで、証しや日本の伝統文化についてのプレゼンやパフォーマンスが要求されることを知り、参加を後悔しました。自分には、証しもなければ日本の伝統文化の素養も何もなかったからです。さらに、他の参加者は 10 代から 20 代前半の学生さんたちで、すべてが自分の想定外でした。他の参加者は、賛美が得意だったり、ギターが弾けたり、サクスが吹けたりと自分が過去なにもしてこなかったことを後悔しました。唯一、沖縄のエイサーをやっていたので、20 年ぶりにそれを披露することにしました。母に感謝です。

また、恵牧師から台湾の基督教についての本を渡されました。今まであまり本を読むということをしてこなかった自分ですが、読んでみました。台湾の基督教の始まり、日本統治時代のことなど、台湾にアシュラムで何度も行っているが知らなにも知らないことに気づかされました。

当初は、スケジュールの詳細や過去の事例についてあまり分からない状態で、不安でしょうがありませんでした。そんな中で現地に着し、言われるがまま会場に向かいました。これから二週間どうなるのだろうか。3 回目の後悔でした。

会場に到着すると、大勢の若者がお出迎えてくれ、アシュラムしか知らない自分は、こんなに若いクリスチャンがいるのかと驚き、彼らのおもてなしやフレンドリーさに圧倒され、徐々に不安はなくなっていきました。(つづく)



ホストの復興教會の方々と共に

榎本 光太

いえじま 雑記 15 松代おばさまへ



後宮松代さんには信じられないほどお世話になりました。後宮家にいけば、いつでもおいしいお食事で歓待していただき、いろいろなお話を聞かせていただいたことを思い出します。よく印象に残っているのは、後宮俊夫先生がまだご健在だったころ、甲西伝道所の礼拝準備のお手伝いを毎週日曜日の朝にしていたことです。

土曜日に、同じ湖南省にあるデイケアの家おしどりアルバイトをして、そこにそのまま泊まり、翌日の朝、後宮家に行くという生活を二年間くらいしていました。まだ真っ暗な朝の五時です。眠たい目をこすりながら後宮家の前までいくと、すでに明かりがついています。中に入るとパンの焼ける匂いがして、後宮先生夫妻がテーブルについておられます。祈り、讃美歌を歌い、ローズンゲンを読み、聖書を読み、アパルムを読み、一日一章を読み、そしてまた祈り。後宮家の早天祈祷会に週に一度だけ参加させてもらっていました。この二人はどれだけの年月、この祈祷会を続けてきたのだろうかと思ひ、けっして華やかではない信仰というものの厳しさと深み、重みを目の当たりにさせていただいたような気がしています(一度だけお二人が寝ておられ、ご自宅の前で立ち往生したこともありましたが)。またまっちゃんおばさんの焼くパンが食べたいなど、心から思います。

榎本 空 (ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

あとがき

まだまだ暑い夏が続いている。今年の異常気象は、台風の進路も、最高気温の更新も記録的に塗り替えていった。私たちも、毎年7月に行っていた「天上の友を覚える日礼拝」の日程を変えなければならぬかと思っている。

世界はオリンピックや戦争、選挙、そして大地震への注意喚起に株価の乱高下など、私たちの耳目を奪うニュースばかりだ。まるでジェットコースターに乗せられているようだ。

ところで「Good news 福音」は語られているか? それはかつてエレミヤが聞いた「平和がないのに平和平和」と叫ぶ安価な恵みではない。それは、主の言われる「最後まで耐え忍ぶものは救われる」(マタイ 24:13)なのだ。

今月もまた、思いもよらない出来事が起こるだろう。しかし、そんな時だからこそ主を見上げ主に従っていきよう。

アシュラムセンターの毎朝の早天祈祷会にご参加ください。共に祈りましょう! Zoomでの参加もできます。詳しくはセンターまでお電話ください。(恵)



わたしはよみかかえりてあり、死んでも生きている、ヨハネ一、25

この時期お母さんに親しい方が、天に見送られたのを、私自身にみまわす

櫻井和子

中止、又はオンラインに変更もあり。ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり!

【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】 080-3983-8140

9月の聖書教室など

Table with 2 columns: Date/Time and Event Name. Includes Zoom聖書教室, 福岡聖書教室, センター聖書教室, 阪神ミニアシュラム, etc.

9月のアシュラムなど

Table with 2 columns: Date/Time and Event Name. Includes 第3回 ユースリトリート アシュラム, 第24回 京都桃山アシュラム, etc.

10月のアシュラム予定

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes 10月17(木)~19(土) 修道場アシュラム, etc.

11月以降のアシュラム予定

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes 11月4(月)~6(水) 第49回 京浜アシュラム, etc.

みことば



日本キリスト教団取手教会 牧師 金子敏明

「キリストが振り向く時」

ルカ9:51~55

イスラエル人とサマリア人の対立は根深いものがあります。もともとイスラエルが南北に分かれていた時の北イスラエル王国の首都がサマリアです。サマリアの人々は北王国を制圧したアッシリアに連れていかれ、代わりに東方から連れてこられた異邦人たちの末裔が新約時代のサマリア人です。彼らは信仰や生活習慣など何もかもイスラエル人とは違いました。サマリア人はイスラエル人憎しからか、イスラエルを植民地にしてはいるローマにべったりでした。一方イスラエル人は「サマリアの連中は神殿を汚す」と罵っていました。そんな時にイエスはサマリアに赴きます。

サマリア人たちもイエスの評判は知っていたようです。しかし、イエスがエルサレム(かつての南王国を象徴する場所)を目指していると知り「お前も結局はイスラエル側のヤツか」と解釈したのでしょう。サマリア人もイエスがエルサレムへ向かう本当の意味を知らなかったのです。

ここで改めて46節以降の記事をみると、イエスの弟子たちの実態が明らかにされています。弟子たちの特徴はこんな感じでした。

「自分たちの能力や実績を自慢してばかりで、小さな子どもの事など目もくれず」「自分たちこそが元祖・老舗で、他の同じ志を持つ者を一切認めず」「勝手にイエス様の心を忖度して、異邦人に憎悪をむき出しにする」こんな体たらくです。

今ならばこれらの言動がSNSで流れたら大炎上必至。翌日にはこれらの発言は削除されるか謝罪会見もです。でも聖書はこの弟子たちの大炎上案件をさらっと書き記しています。なぜなのか。

ルカ福音書はイエス様が「振り向いて見つめる」場面を何度か記しています。イエス様の足を涙で濡らし洗った「罪深い女性」(ルカ7:44)。イエス様を三度も知らないと言ったペトロ(22:61)。十字架を背負わされたイエス様を見て嘆き悲しむ女性たち(23:28)。イエスが振り向かれる時、それは相手を断罪するのではなく、赦しと悔い改めの象徴です。イエス様の愛に生きる者へと変えられる行為です。

イエスは10章で「よきサマリア人」のたとえを弟子たちに話されました。しかし彼らはその意味に気づくのは、ずっと後の使徒言行録10章でのこと。

十字架の死と復活、昇天を経て彼ら自身が宣教者として歩みだしてからようやく「どんな国の人も汚れているとか付き合うなどか、そんなことを神様は望まれている」と気づかされたのです。遅いだろう!と思うでしょうか。それは私たちの実態です。人間ってそれほどに分からず屋なのです。

今年も平和聖日を迎えました。終戦から79年。指導者たちは子どもや貧困層を顧みることもせず、自分がいかに愛国者であるかを競って見えてなりません。情けないです。でもイエスはそんな彼らをも振り向いて神の国へと招かれているのです。主の弟子になってほしいと心から願っておられます。私と貴方の狭さや過ちを主が幾度も振り向いて、気づかせてくださったのですから。イエス・キリストの眼差しが世界を覆いつくすように祈りましょう。



「早天祈禱会の祈りより」 その先達の信仰に生きる者として下さい。 どうぞこの信仰の先達方を天に送り 遺された私達が あなたに聴き従っていく 八月十七日 松代姉召天の朝 恵師 (サムエル記下24)